

表1 平成21年度ダイオキシン類に係る環境調査結果（総括表）

単位: 大気 pg-TEQ/m³
 水質 pg-TEQ/L
 底質 pg-TEQ/g
 土壌 pg-TEQ/g

環境媒体	調査の種類 又は地域分類 (水域群)	地点数	検体数	環境基準 超過 地点数	調査結果			環境 基準値
					平均値	最小値	最大値	
大気	全体	712 (755)	2,498 (2,541)	0 (-)	0.032 (0.032)	0.0049 (0.0049)	0.37 (0.37)	0.6
	一般環境	536 (558)	1,909 (1,931)	0 (-)	0.031 (0.030)	0.0051 (0.0051)	0.20 (0.20)	
	発生源周辺	147 (168)	485 (506)	0 (-)	0.035 (0.036)	0.0049 (0.0049)	0.37 (0.37)	
	沿道	29 (29)	104 (104)	0 (-)	0.031 (0.031)	0.0092 (0.0092)	0.061 (0.061)	
公共用 水域 水質	全体	1,617	2,132	19	0.19	0.011	3.1	1
	河川	1,244	1,717	17	0.21	0.011	2.8	
	湖沼	86	98	2	0.21	0.016	3.1	
	海域	287	317	0	0.077	0.014	0.62	
公共用 水域 底質	全体	1,316	1,383	6	7.1	0.059	390	150
	河川	1,011	1,073	6	6.3	0.059	390	
	湖沼	75	75	0	10	0.18	40	
	海域	230	235	0	10	0.11	85	
地下水質		608	609	0	0.055	0.011	0.88	1
土壌	合計	976	976	0	2.5	0	85	1,000
	一般環境把握調査	717	717	0	2.1	0	85	
	発生源周辺状況把握調査	259	259	0	3.5	0	50	

注1: 平均値、最小値及び最大値は、各地点の年間平均値の平均値、最小値及び最大値である。

注2: 毒性等量の算出には、WHO-TEF(2006)を用いている。

注3: 大気については、環境省の定点調査結果及び大気汚染防止法政令市が独自に実施した調査結果を含む。
なお、下段()内は全調査地点の数値である。

注4: 公共用水域底質の環境基準超過地点数は、年1回以上環境基準値を超過した地点数である。

注5: 地下水質については、このほかに汚染井戸周辺地区調査(1地点、1検体)及び継続監視調査(6地点、6検体)が実施された。

注6: 土壌については、このほかに対象地状況把握調査(1区域4地点、4検体)及び範囲確定調査(1区域9地点、9検体)
ならびに継続モニタリング調査(2区域6地点、6検体)が実施された。